

居住地・勤務地の災害リスクを確認するため ハザードマップ を活用しましょう！

問い合わせ 総務課危機管理室 ☎ 53 - 2111 (内線 3141)

記事ID

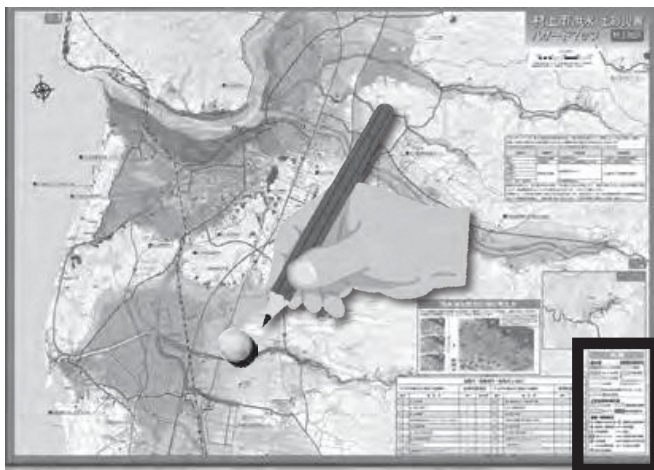
0050760

近年、集中豪雨などによる洪水災害や土砂災害が各地で頻発しており、短時間で河川が増水したり、堤防が決壊して甚大な被害が発生する事例も増えてきています。洪水・土砂災害時の被害を最小限にするためには、平時より災害リスクを認識したうえで、災害時の危険箇所や避難場所についての正確な情報を知っていただくことが何より重要です。

市では令和2年5月1日に「洪水・土砂災害ハザードマップ」を全戸に配布しています。ご確認くださいませでしょうか。



ハザードマップ活用の流れ



1 ハザードマップの地図で自分の住んでいるところや職場、子どもが通っている学校などに印をつけます。

そして、何色が塗られているのか凡例を見て、どのような災害リスクを意味しているのか確認しましょう。



2 ハザードマップを裏返して（上海府地区、山北地域沿岸部の方は同じ面）、避難の方法を参考に、災害時にどのような行動を取るのか考えましょう。



洪水の場合

土砂災害の場合

